



中学校だより

発行人：中学校長

平成28年度 浜松開誠館中学校スタート

浜松開誠館中学校では、新入生を迎え新しい年度をスタートしました。浜松市内のみならず、隣県を含めた広い地域から本校で学ぶことを志して多くの生徒が入学したことを、在校生とともに心より歓迎いたします。また、新年度に当たり、私たち教職員も新たな体制で臨むこととなりました。それぞれに生徒を支え、元気に楽しい学校生活を送ることができる学校、学年、学級づくりに教職員一同一致団結して取り組んでいきたいと考えております。

また、本校にとって平成28年度は、創立90周年を機に策定した「未来戦略」を構想から実行に移す年度でもあります。「未来戦略」では、文部科学省が取り組む高大接続改革を注視しつつ、今後の社会の変化を見据えた中で、社会に必要とされる人材を育成する学校のあり方を2年間に渡って詰めてまいりました。基礎学力はもとより、それらを活用する力（知識活用力）あるいは、学びに関わる姿勢（主体性・協働性）が問われるこれらに向けて、ICTの積極的利用やアクティブラーニング、グローバル教育に一層取り組んでまいりたいと考えております。保護者の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

中学校長

本年度の職員紹介



中学校長 永井 (国語)
新副校長 高橋 (家庭)
新教頭 前田 (数学)
中1主任 川村 (数学)
A組 横山 (英語)
B組 大庭 (社会)
C組 富部 (英語)
新補佐 町田 (国語)
新補佐 ダニエル (英語)
中2主任 尾藤 (社会)
A組 下河邊 (保体)
B組 浅倉 (理科)
C組 伊藤 (英語)
補佐 稲垣 (国語)
補佐 中津川 (数学)

中3主任 加藤 (英語)
A組 袴田 (保体)
B組 鈴木 (国語)
C組 原田 (社会)
補佐 小林 (美術)
新補佐 大井 (技術・数学)
教務課長 櫻田 (理科)
生徒課長 種吉 (保体)
養護教諭 鈴木・宮木

※その他、授業・部活動などでは高校担当教員や非常勤講師も担当いたします。

一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

◎「中学校だより」について

昨年度まで発行していた「校長室だより」をバージョンアップさせ、「中学校だより」として副校長・教頭とともに中学校長の責任編集で引き続き発行してまいります。学年通信では見えずらい他学年の動きを俯瞰的に保護者の皆様にお伝えすることがねらいです。概ね毎月発行します。

H28浜松開誠館中学校グランドデザイン

〔教育方針〕

徳育を土台にグローバル・知育・体育に取り組むことで、自らの未来を見つける力を育み、地域社会が求め必要としている社会人へと成長させる教育

〔教育宣言〕 体罰といじめの根絶・笑顔がはじける徳育の浜松開誠館

〔育成する生徒像〕

徳育・知育・体育の三位一体教育と未来戦略教育により、バランスの良い心身を備え集団とのかかわりの中で自己肯定的に自分の夢・未来の実現に向けて探求し、困難な場面でも自ら打開する力を有する生徒

徳 育

- 豊かな心の育成と人間形成
- 粘り強さの育成
- 帰属意識を伴う自己有用感と他者尊重精神を育成
- 異年齢活動を通じた人間力の育成

グ ロー バ ル

- 地域～日本～アジア～世界というつながりの意識の形成
- 多様な中での協働性の養成
- 多様な価値観による困難な場面を打開する力の育成

知 育

- 授業規律の徹底
- 達成感の積み上げと基礎学力の定着
- 知的好奇心を刺激し楽しさを感じさせる協働的・主体的な授業の実践
- 自己の生き方の探求

体 育

- 部活動を通して健全な身体と自主自律の精神を育成
- 基本的生活習慣の確立と態度教育

平成 2 8 年 度 重 点 取 り 組 み

①徳育教育プログラムK-compassを生かした「前始末」的指導を行います。

②「葛藤の場」としての学校行事・生徒会活動を通して、「勇気づけ」の指導を行い、自主的な運営によって心を成長させます。

③中高合同の2大行事（真澄祭・体育大会）や全校応援への参加を通して、帰属意識や他者を敬う気持ちを高めます。

①「開誠館の英語」の確立に向けた教育改善計画を推進します。

②インターネットフレンドシップ事業や海外研修等による海外交流を実施します。

③教科と運動して地域や日本を知る学年活動を実施します。

①基礎学力の定着や中高接続を前提にした学力担保に向け、系統的な指導や放課後指導、e-learningの導入などを行います。

②言語活動・表現力の向上を目指し、各種スピーチコンテストや作文への応募のほか、クラス対抗校内掲示板コンテストを行います。

③知的好奇心と教育効果を高めるICT活用やアクティブラーニングを推進します。

①一人一人の文武両道をめざし有酸素運動を実施します。（新入生対象）

②学習と、人間形成の場としての部活動との両立体制の構築をめざします。

③体育活動を通して、態度教育の強化を図ります。

自己肯定感の醸成

品格ある生徒の育成

- ①きめ細かい生徒理解と家庭連携に取り組み、いじめに対するわずかな兆候も逃さずチームで対応
- ②ぶれない「3つの徹底（あいさつの徹底・時間の徹底・服装の徹底）」と態度教育の強化

学校評価・協力

公表・情報発信

保護者・生徒の期待と教育課題

- ・私立中学校への期待（費用対効果）
- ・学習面の面倒見の良さへの期待
- ・基礎学力の定着と学習習慣
- ・部活動での実績と成長
- ・学習と部活動のバランス
- ・粘り強さ（耐性）の育成
- ・自尊意識
- ・他者との協調
- ・いじめのない学校